

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回茨木市総合保健福祉審議会
開催日時	令和8年3月23日（月曜日）
開催場所	茨木市役所南館10階 大会議室
議長	肥塚会長
出席者	入交委員、大川委員、川島委員、木下委員、小西（真緒美）委員、坂口委員、阪本委員、澤田委員、篠永委員、住友委員、田谷委員、玉置委員、津止委員、富澤委員、中西委員、本多委員、山口委員、山田委員 （50音順）
欠席者	池浦委員、黒根委員、小西（かおる）委員、平里委員、福阪委員
事務局職員	【福祉部】 澤田福祉部長、肥塚地域福祉課長、白波瀬地域福祉課長代理、岩本福祉総合相談課参事、北川福祉総合相談課長代理、鍋谷生活福祉課長代理、井上障害福祉課長、石井福祉指導監査課長 【健康医療部】 村上健康医療部長、奥野健康づくり課長、多田長寿介護課長 【こども育成部】 中島発達支援課長 （機構図順）
議題（案件）	1. 各分科会における審議内容の報告について 2. 総合保健福祉審議会の答申（案）について 3. その他
資料	次第 資料1 令和7年度各分科会の審議内容について 資料2 茨木市総合保健福祉計画（第3次）中間見直しにおける審議会・分科会等のスケジュール（案） 配席表

議 事 の 経 過

発 言 者

発 言 の 要 旨

事務局
(白波瀬地域福祉課長代理)

それでは、定刻となりましたので、茨木市総合保健福祉審議会を開催させていただきます。

私、茨木市総合保健福祉課の白波瀬と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、まず初めに本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第です。続きまして、右肩に「資料1」と記載しております「令和7年度 各分科会の審議内容について」というホチキス留めの資料1部です。次に、A4横の来年度の中間見直しにおける審議会・分科会等のスケジュール(案)の資料です。そして、本日の配席表となっております。

資料等、不備等ございましたら挙手にてお知らせください。

よろしいでしょうか。

それでは、会議の議事進行につきましては会長が行うこととなっておりますので、肥塚会長、どうぞよろしくお願いいたします。

肥塚会長

皆さん、こんにちは。

それでは、会議を始めさせていただきます。

審議会の会議録は原則公開でございますので、ご了解をいただくようお願いいたします。

また、会議録の作成上、ご発言の際はマイクを使用させていただきようお願いいたします。

それでは、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局
(白波瀬地域福祉課長代理)

それでは、本日の委員の出席状況につきましてご報告させていただきます。委員総数24名のうち、ご出席いただいておりますのが19名、欠席5名となっております。半数以上の出席をいただいておりますので、当審議会規則第6条第3項により会議は成立いたしております。また、本日は6名の方が傍聴されておられることをご報告いたします。

肥塚会長

ありがとうございました。

それでは、議事に移らせていただきます。

まず、議題1の「各分科会における審議内容の報告について」であります。各部会から今年度行われた分科会の主な審議内容について、簡単に報告をお願いいたします。

事前に資料1として「各分科会の審議内容について」という資料

が事務局から送付されていると思います。

これにつきましては、昨年度の資料が簡略過ぎるのではないかと
いうご指摘をいただき、報告内容と、それから意見内容が分かるよ
うに、今回このように編集していただいたということでございま
す。

こちらに沿って報告をお願いいたします。

それでは、まず地域福祉推進分科会の報告をお願いいたします。

皆さん、こんにちは。地域福祉分科会の津止でございます。

資料に基づいて、審議内容について報告したいと思います。

令和7年度は、7月30日に1回、分科会を開催しました。

内容については、資料にあるとおりですが、本分科会が所管をす
る行政の「地域福祉計画（第4次）」の分野と、それから茨木市社
会福祉協議会の「社会福祉協議会地域福祉活動計画（第3次）」の
取組み状況等についても議題にいたしました。

行政の計画と社協の計画を一体的に策定しておりますので、併せ
て報告をしたいと思います。

はじめに、事務局から令和7年4月に北保健福祉センターをオー
プンして、市内5圏域全てに地区保健福祉センターが設置されたと
いう、計画が順調に進捗しているという報告がありました。

市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり
の推進が実現できたのではないかと感じるところでございます。

続きまして、令和6年度の地域福祉計画（第4次）と社会福祉協
議会地域福祉活動計画（第3次）の取組状況であります。

市の計画である地域福祉計画に記載されている「個別避難計画作
成の推進」については、令和7年度に難病児者を含む279件の個
別避難計画の作成が完了したこと。それから、「民生委員・児童委
員活動の推進」については、毎年、自治会等へ候補者選出依頼を行
って、委員の成り手確保を講じていますが、充足率は減少傾向にあ
ること等の報告がありました。

昨年、11月末の任期満了で新たな3年間の体制が12月から発
足したわけですが、そこでも残念ながら充足率を満たすことはでき
ていないということ、事務局から報告を受けております。民生委
員の充足率減少の要因としましては、人口減少による労働力不足等
によって、定年延長や定年を過ぎても働き続けることが一般的にな
ったことなどが考えられるとのことでありました。

社会福祉協議会の地域福祉活動計画については、「ぷらっとホー
ム事業の推進」において、延べ参加者数が増加しているけども、地
区福祉委員会活動の大きな担い手である、福祉委員の数が減少して

肥塚会長

本多委員

いること、地域で活躍できる人材の育成として、ボランティア体験プログラムや養成講座を実施しているということの報告がありました。「ぷらっとホーム事業の推進」については、担い手、場所、財源の確保など課題があるのですが、現在実施している地区等を参考にしながら、創意工夫をすることで参加者数の増加等につながっているのではないかとのことでありました。

福祉委員数の減少については、福祉委員会を構成するメンバーが自治会を基盤としている福祉委員会が多く、自治会そのものの減少や自治会への加入数の減少が福祉委員の減少の一因ではないかとのことでした。

委員の皆さんからは、民生委員・児童委員の充足率向上に向けた取組や、地域の実状や自治会の現状、加入率アップに関する取組など、活発な意見交換がなされました。

課題が複雑化する今日の社会において、すぐに全てを解決するような取組というものは地域福祉分野においては難しいかもしれませんが、各地で進んでいる様々な工夫や知恵を丁寧に拾い上げながら、地域に普及していくといった活動を、計画の中でも指し示していくことが重要ではないかなと思います。

令和8年度につきましても、適宜、進捗確認をしながら計画の中間見直しに向けて、引き続き、議論を行っていきたいと思います。以上でございます。

どうもありがとうございました。

続きまして、高齢者施策推進分科会の報告をお願いいたします。高齢者施策推進分科会の本多です。

私から、令和7年度の分科会の審議内容についてご報告させていただきます。

高齢者施策推進分科会では、全部で3回、分科会を実施しております。各回ごとにご報告していきます。

まず、第1回目ですが、8月4日に分科会を開催しております。

内容といたしましては、「令和6年度の事業実績について」と「令和7年度に実施する市民向けアンケート調査について」です。

前年度の令和6年度の事業実績につきましては、目標達成に向けて着実に実行されている項目が多く、全体的な進捗状況に問題はありませんでした。あと、一部の取組について、少し遅れている項目もありました。これに関しましては、3年計画の1年目でもありますので、今後、これを挽回するというところで報告がございました。

令和7年度に実施する市民向けのアンケート調査についてです。これに関しまして、こういうアンケートでということで、「介護予

防・日常圏域ニーズ調査」、それから「在宅介護実態調査」「介護保険事業者調査」というこの3種類についてなんですけれども、事務局からアンケートの案について報告がございまして、各委員の皆様から質問内容について非常に活発な意見をいただきました。いただいた意見を基に、また改善等をおこなっていくということで、第1回目を終了しております。

第2回目ですが、10月23日に分科会を開催しております。

議題といたしましては、「茨木市介護保険事業の運営状況について」と、先立って1回目で話し合いました「茨木市の保健福祉に関するアンケート調査（案）について」のこの2点でした。

まず、保険事業の運営状況については、令和6年度における要介護認定率、給付費の推移、各介護サービスの状況についての報告がございました。

その中で、大阪府全体の傾向といたしまして、介護が必要になったときに備えて早めに申請を行う、いわゆる「お守り申請」が多く見られるという報告がございました。

また、アンケート調査についてですが、これは分科会で委員の皆様からいただいた意見を基に、事務局で整理した案が示されております。委員の皆様から、改めて見やすさ等々の意見をいただきまして、再度整理された後にアンケートの調査票が完成しております。資料にも書いているのですが、説明があったほうがいいのではないかと、ここは注記があったほうがいいのか、市民目線でのご意見をたくさんいただいております。

そして、第3回目ですが、先日、2月26日に開催しております。

このときは、「市民向けアンケート調査の結果（速報値）について」の報告と、「令和7年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金（市町村分）の評価結果について」の報告がございました。

アンケートの速報値についてですが、非常に回答率が高く、また、スマートフォンの利用率とかウェブでの回答など、どんどんと変わっていったという内容についても報告をいただきました。

委員会はアンケートの結果について、地域別とか年代別でももう少し詳細に分析して、次期計画づくりに活用するようという御意見をいただきまして、またやっていただけということでございます。

それから、令和7年度の2つの交付金についての評価結果についてですけれども、市の取組に関する交付金の金額等について報告がございました。これ、茨木市の全国順位といたしましては、2種類

肥塚会長

中西委員

の評価得点で1, 741市町村中384位と、非常に上位のほうであるということも追加で報告されております。

以上でございます。ありがとうございます。

どうもありがとうございました。

続きまして、障害者施策推進分科会の報告をお願いいたします。

障害者施策推進分科会の中西です。

それでは、令和7年度の障害者施策推進分科会の審議内容について御報告いたします。

令和7年度は、8月27日に第1回、1月29日に第2回分科会を開催いたしました。

今年度の内容につきましては、資料にもありましたように「令和7年度 障害福祉関連事業について」、本分科会が所管する「障害者基本計画（第5次）、障害者福祉計画（第7期）・障害児計画（第3期）の取組状況等について」また「茨木市立障害福祉センターハートフルの学童保育の使用について」「次期計画策定に向けた方向性について」を議題といたしました。

1回目は、「障害者計画」と「障害福祉計画」、「障害児福祉計画」の取組の進捗及び推進状況について審議しております。

2回目は、「障害者計画」の中間見直し、「障害福祉計画」、「障害児福祉計画」の次期計画に向けた次年度のスケジュールの確認や国の計画改定に向けた基本方針の見直しに関する資料を示しながら、計画の中間見直し・次期計画の方向性の共有を行いました。

「障害者計画（第5次）」や「障害福祉計画（第7期）」、「障害児福祉計画（第3期）」の取組状況については、市が実施している事業と障害福祉サービス事業所の連携や民生委員への情報提供、災害時の情報提供や避難訓練の取組等についての意見をいただきました。

また、新事業となる就労選択支援事業やB型事業所の工賃について、また学校現場での支援についても第1回の取組報告と第2回の計画の見直しや次期計画策定に向けての意見にも出ておりました、活発な意見をいただいております。このことによって、委員の皆様の関心の高さがみられました。

令和8年度につきましても、適宜、進捗状況確認を行うとともに、計画の中間見直しや改定に向けて、引き続き活発に議論を行いたいと思っております。

以上、報告です。ありがとうございます。

どうもありがとうございました。

最後に、健康医療推進部の報告は肥塚からいたします。

肥塚会長

今年度は、令和7年7月24日に第1回を、令和8年2月18日に第2回分科会を開催いたしました。

第1回分科会では、地区保健福祉センターにおける活動や健(検)診事業の推進、健康づくり課公式インスタグラムの運用開始など、「健康いばらき21・食育推進計画」の各施策に基づき実施した、令和6年度の主要な取組の状況について報告を受けるとともに、計画の目標達成状況や課題・評価について、おおむね順調に推移しているとの報告を受けました。

「いのち支える自殺対策計画」については、茨木市における自殺者数の推移について報告を受け、自殺者数は前年から横ばいであるものの、引き続き健康状態を要因とする自殺が多いことや、有職者の自殺が多いことについて説明を受けました。

また、こころの相談事業・自殺対策の普及啓発事業の状況については、令和3年度に精神保健福祉士を雇用し、令和5年度からは2名体制として取り組んでいることから、相談件数や啓発事業の実施が年々増加傾向にあると説明を受けました。

計画の中間見直しに向けて実施するアンケート調査項目についての説明もあり、推移等から見る目的から前回と同様の内容にすることを基本とするものの、市が前回実施したアンケート調査以後に策定された、国や大阪府の計画等を踏まえ、新たに追加した項目があることについての説明を受け、各委員において審議いたしました。

委員の皆様からは、ウェブけんしん予約システムの利用者年齢層や計画の進捗に係る評価について、また、アンケート調査における質問項目について、それぞれの立場から活発なご意見・ご質問をいただき、事務局より回答をいただきました。

第2回分科会では、今年度を実施したアンケート調査の集計・進捗状況や、計画中間見直しに向けた今後のスケジュールの予定について報告を受けました。

アンケート調査については、調査票の回収数や概要についての説明や、前回調査結果と比較をしつつ、単純集計結果の主な項目についての報告を受けるとともに、計画の中間見直しに向けた次年度のスケジュール案について説明を受けました。

また、令和7年度の健康づくりに係る主な取組については、各種健診の推進状況や多様な主体と連携した市民の健康づくりや食育推進に資するイベントとして、茨木市健康フェアや食育推進月間イベントの実施のほか、国立循環器病研究センターと連携した取組、市内薬局や公共施設への「血圧測定スポット」の設置などについて、

篠永委員

事務局
(多田長寿介護
課長)
篠永委員
肥塚会長

報告を受けました。

委員の皆様からは、健康に関心がある層の薬局利活用や、市のアンケート実施結果に係る全国等との比較について、血圧測定スポットのロゴマークについてなど、それぞれの立場から活発なご意見・ご質問をいただき、事務局より回答をいただきました。

令和8年度につきましては、今回のアンケート調査の結果を踏まえ、計画の中間見直しを予定していますので、引き続き活発に議論を行ってまいりたいと考えております。

健康医療推進分科会の報告は以上でございます。ありがとうございました。

この案件につきましては、報告案件ですので、細かな内容についての審議はここでは行わないのですが、今の報告についてご意見・ご質問、確認したいこと等々ございましたらお聞きしたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

挙手をしていただいたらマイクを回させていただきます。

ほかの分科会の状況についても、共有は今の報告であったかとは思いますが、さらにつっこんで聞いてみたいこと、確認したいこと、あるいはご意見いただけましたらありがたいと思っております。

いかがでしょうか。どなたからでも結構でございます。せっかくだから聞いていただいたらうれしいのですが、何もなくスルーは味気ないなと思っておりますが、どうでしょうか。

医師会、篠永でございます。

私自身は、健康医療推進分科会でお世話になってきておりますが、それ以外のところで1点だけお伺いしたいことがございます。

高齢者施策推進分科会において、2ページの中段の行でしょうか、「前回の調査項目に加え、スマートフォンの利用、在宅医療、終活など…」というところがございますが、昨今、人生会議（ACP）っていうところ、非常にキーワードの一つとなっておりますが、この「終活など…」にはその意味も込められているのかなってというのが私の質問でございます。

以上です。

今おっしゃってくださった人生会議（ACP）の認知度についてもそこで確認させていただいております。

ありがとうございます。

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

玉置委員	<p>私、梅花女子大学、玉置でございます。 所属は地域福祉推進分科会です。</p>
肥塚会長	<p>幾つかのところで、資料1のところにはあるのですが、令和7年4月に北保健福祉センターがオープンということで、市内5圏域全てに地区保健福祉センターが設置されたということで、大変喜ばしいと思うのですが、例えば、4ページの障害者施策推進分科会のところでもこれについて取り上げられておまして、「委員からの意見等」のところに「地区保健福祉センターと障害福祉サービス事業所との連携について」というのがございました。これについて、もちろんほかの部会でもこういったお話があれば、障害分野に限らずなんですけれども、サービス事業所との連携について、現状について伺えればと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>玉置委員 肥塚会長 事務局 (北川福祉総合 相談課長代理)</p>	<p>地区保健福祉センターと、障害者福祉以外のところということですね。</p> <p>障害者福祉分野も含めてです。</p> <p>これも含めて連携ということで、お願いいたします。</p> <p>地区保健福祉センターと障害福祉サービス事業所との連携についてでございますが、現在、障害福祉サービス事業所連絡会と協議させていただいております。来年度、地区保健福祉センターを見学いただき、合わせて概要説明を行う予定としております。お互いにそれぞれの役割や取組を理解し、今後の連携に繋がればと考えております。 以上です。</p>
<p>肥塚会長 事務局 (澤田福祉部長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>令和7年4月に地区保健福祉センターが5圏域にそれぞれできました。この地区保健福祉センターは、障害者や高齢者、それぞれに特化したものではなく、「地域福祉」というキーワードの中で、それぞれ皆様とのつながりを一緒につくった中で、地域の方々と地域を盛り上げていく、その中にいろんな事業者さんも一緒に入ってきて活動する形でやらせていただいております。それぞれのセンターが個別で障害分野の事業者や高齢分野の事業者とこういう話をしている等はあると思いますが、一番は地域で、何か困ったことがあればどこかにつながる体制を取ることが大事だと考えております。その中の一つとして、地区保健福祉センターがあり、地区保健福祉センターがいろいろ横の連携をつなぎながら活動していく障害や高齢の事業者があると考えております。今、これはこれだけ進んでおりますというような、成果を数字で出せるというのはなかなか難しいのかなと考えています。北保健福祉センターはま</p>

肥塚会長

だできたばかりで、なかなか皆さんに浸透しているというところがなく、難しい部分もあるのですが、東保健福祉センターはできて5年たちますので、何か困ったことがあったら東保健福祉センターにいけば話を聞いてどこかにつながることができるという認識は地域では、ある程度できてきているのかなと考えております。よろしくをお願いします。

どうもありがとうございます。

地区保健福祉センターは第2次総合保健福祉計画のときからずっと重要な施策として掲げていて、今ようやく5つ全部そろったということで報告もあったわけですが、今度の見直しにつきましても、やはり地区保健福祉センターは非常に重視してきた経緯もあるわけなので、今、ご質問ありましたように、色々なところとの連携、これがどういうふうに進んできているのか、どういう課題があるのかということについては、きちっとやはりレビューをしていただきたいと思います。今後、センターごとの課題が若干当然違っているとは思いますが、そこについてもきちっとレビューをした上で、また前に進んでいくことが必要かなと思って、今伺ったところでございます。よろしくお願いたします。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

大変重要なお指摘の意見と、それからご回答いただいたと思っております。

続きまして、議題の2でございます「総合保健福祉審議会の答申（案）について」に移ります。

今年度の初め、令和7年7月2日に市長から保健福祉に関わる総合的な施策の推進に関する事項につきまして諮問を受け、これまで皆様と議論を重ねてまいりました。

答申に当たり、答申書を作成いたしましたので、事務局から委員の皆様へ配付してください。

内容につきましては、これまでの取組に対する評価と今後策定していく総合保健福祉計画（第3次）中間見直しに当たっての要望としております。こちらの内容でご異議ありませんでしょうかということなのですが、せっかくですから読まれる必要があるかなと思いますので、ちょっとだけ読ませていただきます。

下記のとおり答申いたします。

当審議会において、諮問の日から年度末までの間に審議会と各分科会で合計9回の会議を開催し、専門的な見地、当事者団体、市民委員の各視点により、茨木市総合保健福祉計画の取組状況等について、活発かつ慎重に審議を行いました。

事務局
(白波瀬地域福祉課長代理)

本計画の理念である「すべての人が健やかに、支え合い暮らせる、みんなが主役の地域共生のまちづくり～包括的な支援体制の実現とともに～」の実現に向け、茨木市の市民や団体、関係機関、市が分野を越えてつながり、それぞれの立場で協力し、地域共生のまちづくりに取り組んでいることを評価します。

令和8年度に行う「茨木市総合保健福祉計画（第3次）」の中間見直しについては、アンケート調査をはじめとした市民の意見を十分に尊重されるとともに、審議会、各分科会で活発かつ慎重に審議を重ね、取りまとめていただくことを望みます。以上。

ということで、令和7年度の状況の評価と今後こういうことをしていきますのでよろしくお願ひしますという立てつけに、文書はなっております。何かご質問・ご意見ございますでしょうか。

よろしいですか。

ありがとうございます。特にございませんので、この答申書（案）のとおり市長に答申をさせていただきます。

続きまして、議題3の「その他」について事務局から来年度の計画策定におけるスケジュールについて報告お願いいたします。

地域福祉課の白波瀬です。

それでは、A4横の資料2、スケジュール（案）をご覧ください。

現行の総合保健福祉計画につきましても、令和6年3月に策定をいたしまして、令和7年度から取組を進めているところでございますが、そのうち、高齢分野、障害分野の計画につきましても、法定で3年に一度計画を策定することとなっておりますので、令和8年度に審議会、分科会を開催させていただきます。策定内容を審議いただく予定としております。

あわせて、地域福祉、健康分野につきましても3年間の取組実績の評価、分析などを行っていく予定としております。

具体的な作業内容につきましては、資料2スケジュール表の一番下をご覧ください。

まず、4月から7月まで各分科会におきまして、令和7年度までの取組評価や現状分析を行いまして、それと並行して、11月末まで計画素案を策定いたします。12月に第1回目の審議会でご審議いただき、その後、年が変わりますが、令和9年1月末から2月半ばぐらいまでにパブリックコメントを実施し、ご意見を集約しました後、3月の第2回の総合計画審議会でご審議いただき、3月末に計画を策定していきたいと考えているところです。

各分科会の開催スケジュールですが、こちら現状の案となっておりますので変更となる場合がございますが、それぞれ2回から4回

<p>肥塚会長</p>	<p>ほど予定しておりまして、資料に記載をさせていただいているところです。</p> <p>具体的な開催日時につきましては、それぞれ事前にまた日程調整等させていただき予定としておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>もし質問がございましたら、挙手にてお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>皆さん、こういうことで進めて、それぞれ分科会でやっていただきますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に澤田福祉部長から挨拶をいただきます。</p>
<p>事務局 (澤田福祉部長)</p> <p>肥塚会長</p>	<p>【部長挨拶】</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>今、澤田部長からご挨拶がありましたように、この保健福祉分野に関係することは大変増えてくるのかなと思っております。各分科会での議論はそれぞれの分科会の課題がございますので、この審議会につきまして12月にすることになっているので、ぜひ分科会での議論につきましても、ぜひ第1回の審議会でご意見いただきたいと思っておりますし、また分科会でもそういう視点も含めて議論していただければ大変うれしく思っております。</p> <p>それでは、本日の議題が全て終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局 (白波瀬地域福祉課長代理)</p>	<p>本日の会議録につきましては、事務局で会議録案を作成いたします。後日、委員の皆様にお送りさせていただきますので、ご確認のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>これをもちまして、総合保健福祉審議会を終了させていただきます。本日は、審議会の運営にご協力いただきましてありがとうございました。</p>